

定期作況報告

(平成17年9月20日現在)
北海道立天北農業試験場

気象概況

8月下旬から9月中旬までの気象は以下のように推移した。

8月下旬：平均最高気温が22.2（対平年値+0.4、以下同様）平均最低気温が14.5（-0.2）とそれぞれ平年並であったので、平均気温は18.3（+0.2）と平年並であった。降水量は116mm（190%）と平年より多く、日照時間は60.4時間（120%）と平年よりやや長かった。畑地温は16.9（-0.9）と平年よりやや低かった。

9月上旬：平均最高気温が22.6（+1.3）と平年よりやや高かったため、平均気温は17.8（+0.6）と平年よりやや高かった。降水量は57mm（150%）と平年より多かった。日照時間は59.8時間（100%）と平年並であった。畑地温は16.3（-0.7）と平年よりやや低かった。

9月中旬：平均最高気温が21.7（+2.0）平均最低気温が12.7（+1.6）と平年より高かったため、平均気温は17.2（+1.9）と平年より高かった。降水量は55mm（117%）日照時間は51.7時間（107%）畑地温は16.0（+0.2）といずれも平年並であった。

以上、この期間を要約すると、平均気温は9月上旬と中旬が平年より高く推移したため、3旬の平均は17.8（+0.9）と平年よりもやや高かった。降水量は3旬の合計で228mm（156%）と平年より多かった。また日照時間は171.9時間（108%）と平年並だった。畑地温は7月下旬と8月上旬がやや低かったため、3旬の平均も16.4（-0.5）と平年よりやや低かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、降水量、日照時間、畑地温は平年並に推移している。

a. 気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	18.3	18.1	0.2	17.8	17.2	0.6	17.2	15.3	1.9	17.8	16.9	0.9
平均最高気温（℃）	22.2	21.8	0.4	22.6	21.3	1.3	21.7	19.7	2.0	22.2	21.0	1.2
平均最低気温（℃）	14.5	14.7	0.2	13.5	13.2	0.3	12.7	11.1	1.6	13.6	13.1	0.5
降水量（mm）	116	61	55	57	38	19	55	47	8	228	146	82
降水日数（日）	11	5	6	3	4	1	6	5	1	20	14	6
日照時間（hrs）	60.4	50.5	9.9	59.8	60.1	0.3	51.7	48.3	3.4	171.9	158.9	13.0
平均畑地温（10cm、℃）	16.9	17.8	0.9	16.3	17.0	0.7	16.0	15.8	0.2	16.4	16.9	0.5
最多風向	SSW			SSW			SSW					
平均風速（m/s）	1.8			2.0			2.0					

注1）平均畑地温は天北農試のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2）平年値は前10か年の平均より天北農試作成。

3）降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4）印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値（4月21日～9月20日）

	平均気温 （℃）	降水量 （mm）	日照時間 （hrs）	畑地温 （℃）
本年	2,172	531	805	1,918
平年	2,126	554	690	2,043
比較	47	23	115	125

作況

1 牧草

1) 採草型 チモシー (3 番草)

作況：やや良

事由：9 月 20 日の草丈は平年に比べやや長かった。よって、現在の作況はやや良である。

調査項目

草丈 (cm)		
本年	平年	比較
49	42	7

注 平年は前 3 年の平均値

2) 放牧型 ペレニアルライグラス (5 番草)

作況：良

事由：9 月 20 日の草丈は平年に比べ長かった。生草収量および乾物収量は多く、乾物率は低かった。
よって、現在の作況は良である。

調査項目

草丈 (cm)		
本年	平年	比較
53	30	23

注 平年は前 3 年の平均値

生草収量 (kg/10a)			乾物率 (%)			乾物収量 (kg/10a)				通算乾物収量 (kg/a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較	平年比
1948	688	1260	10.9	19.3	8.4	212	133	79	159	859	809	50	106

注 平年は前 3 年の平均値